

教育課程の展開例を活用したタブレット活用のアイデア

1 活用した教育課程の展開例 → 特2-6

2 展開例を活用したタブレット活用のアイデア

事前 ロイロノートのカメラ機能を使って、これまでの活動内容を説明する画像や動画を記録しておく。

① ロイロノートのカメラ機能を使って、事前に録画したこれまでの活動内容を提示する。

② ロイロノートの生徒間通信機能を活用して、意見やアドバイスを送信し合う。
事前に意見やアドバイスを入力したカードを準備しておく。

サンキューカード
イラスト会社へ
イラストを書いてくれてありがとう。とっても上手だったよ。

アドバイスカード
かくしゅうかかへ
かんじのもんだいおもしろかったです。
いつか、さんすうもんだいをやってほしいです。

③ ロイロノートの「提出箱」を活用して、係活動の目標を表示する。

2 事前の活動
これまでの活動内容を見直し、係への要望に答えられる活動を考えるようにする。

3 準備 短冊、賛成・反対を示すマグネット、児童名を書いたマグネット

4 指導過程

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>出し合う (1) これまでの活動を振り返り、ポスターや紙芝居等を作り、発表する。</p> <p>(2) よかったことや改善するとよいことをアドバイスし合う。</p> <p>2 くらべ合う 出されたアイデアを見て、それぞれのアイデアを「役立ち」「活躍」の二つの観点で比較する。</p> <p>3 まとめる(決める) どのアイデアを基に活動をレベルアップさせるのか決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 係グループごとにこれまでの活動内容や「しっかりできたこと」「困っていること」を発表させる。 ○ 「役立ち」「活躍」二つの観点を得点化し、頑張りを文章で表現するように助言する。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">みんなが楽しい遊びをやりたけれど、新しい遊びのアイデアが浮かびません。</div> ○ 自己評価の結果や友達からのアドバイスを聞き、今後の活動に生かせることを取り上げるように助言する。 ○ 「役立ち」「活躍」がともに同じアイデアのものは、実現可能かどうかを児童に考えさせ、係活動がよりパワーアップできるアイデアを考えさせる。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">鬼ごっこと玉入れを組み合わせると、鬼から逃げながら、玉入れをする遊びはどうか。</div> ○ 教師は、活動の見直しが進まない係グループの話合いに入り、助言する。 ○ 活動の一つに決めることができない係グループには、二つの意見を組み合わせたり、順番に取り組ませたりすることで、活動内容を決定させる。

3 タブレット活用の有効性について

- ① ロイロノートのカメラ機能を使ってこれまでの活動を紹介する画像や動画を作ることで、自分の活動を振り返ることができる。また、画像を見せることで、自分たちの活動を友達に分かりやすく伝えることができる。
- ② ロイロノートの生徒間通信機能を活用することで、係グループの子全員へ意見やアドバイス書いたカードをコピーして送信することができる。
- ③ ロイロノートの「提出箱」を活用することで、今後の係のめあてを学級の児童全体に知らせることができる。